

平成26年度学校地域連携コーディネーター情報交換会(全体会)を開催しました。

平成26年5月22日(木)に、学校地域連携コーディネーターを対象とした研修会「平成26年度学校地域連携コーディネーター情報交換会(全体会)」を開催しました。

校内行事等により参加できなかったコーディネーターを除く、144名が出席し、情報交換等を行いました。

今回は、市立針ヶ谷小学校の大塚 彰コーディネーターと市立日進中学校の藤巻 眞理子コーディネーターの2名が、チャレンジスクールを中心とする所属校での実践を発表しました。



【大塚コーディネーターによる実践発表】

大塚コーディネーターからは、針ヶ谷小学校を会場として実施している「針ヶ谷ふれあい子ども教室」での取組についての発表がありました。「針ヶ谷ふれあい子ども教室」は、平成25年度に「優れた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣表彰」を受賞しています。

放課後の活動は、月曜日に英語教室、水曜日に低学年・木曜日に高学年の学習サポートを行い、また、土曜日の活動は、午前に料理講座、午後に工作・ものづくりや理科の実験講座を開設しているとのこと。大塚コーディネーターは、これらの取組による成果の一つとして、「子どもたちの姿に自



【藤巻コーディネーターによる実践発表】

信と積極性が見られるようになってきた」ことをあげ、「学校と家庭と地域の連携の大切さを痛感した」と述べました。

続いて、藤巻コーディネーターから、日進中学校チャレンジスクールでの取組についての発表がありました。チャレンジスクール実行委員会については、地域諸団体等(PTA、後援会、部活動育成会、自治会、青少年育成地区会、体育振興会、民生委員児童委員協議会)から推薦された10名の方で構成し、SSN協議会の委員も兼ねていただいているとのこと。

また、日進中学校では、部活動が盛んであること、より多くの生徒が参加できるようにすることから、チャレンジスクールを定期試験前の部活動停止期間に集中的に開設しており、生徒や保護者からは、肯定的な意見が多く寄せられているとの発表がありました。

メモ

学校地域連携コーディネーターは、学校と地域のつなぎ手の役割を中心的に担う学校職員で、さいたま市では、全ての市立小・中・特別支援学校に1名ずつ配置しています。

SSNとは、School Support Network(スクールサポートネットワーク)を略したもので、いわば、各学校を御支援いただく「応援団」とも言えます。

本紙では、今後、各学校での「SSN」の様子を紹介していきたいと考えています。

今回は、緑区の市立中尾小学校の取組を御紹介します。

中尾小学校では、地域の方々といっしょに「心をはぐくむ活動」に取り組んでいます。



【環境緑化ボランティアによる除草作業】

<環境緑化ボランティア>

中尾小学校は、敷地内に広い田んぼや畑、湧水の流れる中尾川などを有する、緑豊かな学校です。子どもたちは四季折々に変化する木々や草花、原っぱの虫、水辺の生物などに触れ、近年、市内では得がたい体験を積むことができます。

この環境を支えてくださるのは「環境緑化ボランティア」の方々です。除草や花植え、木々の剪定、土留めの修復などをしてくださるおかげで美しい環境が保たれ、子どもたちの安全が守られています。日頃の活動を目にしている子どもたちは、ボランティアの方々に感謝をし、環境を大切にする心も育っています。

<図書ボランティア>

保護者が中心となって活動をする「学校図書ボランティア」は4年前に発足しました。読み聞かせをする「よむよむさん」、本の整理や季節のディスプレイをする「さくさくさん」です。本が苦手な子も興味もてるように、図書室は季節に応じた様々な工夫が凝らされています。

他にも、東浦和図書館の「おはなしグループどんぐり」、執筆や講演で活躍されている先生方など、多くの方々がおもしろさを伝えてくださるおかげで、本が大好きになった子どもたちがいっぱいいます。



【読み聞かせに引き込まれている子どもたち】



【ヌウ&演奏家&なかチャレスタッフ】

<なかおっ子チャレンジスクール>

通称「なかチャレ」は工作やスポーツなどの体験活動や学習活動を、大勢の方の支援を得て運営されています。通常は登録児童のみの活動ですが、活動の周知を目的として年に2回程、誰でも参加可能なイベントも行われています。

今年はプラザイーストでオーケストラ鑑賞会が実施されました。「本物の音」に触れた子どもたちは、目をキラキラさせて舞台を見つめ、音楽に聴き入っていました。

また、演奏会の運営にはPTAをはじめ、他の活動団体との連携がなされたことも大きな成果となりました。

中尾小学校では、他にも様々な取組が行われています。多くの方々との触れ合いを通して、子どもたちの「豊かな心」がはぐくまれています。

本紙では、これからも、各学校での学校・家庭・地域の連携・協力による取組の様子を御紹介していきます。

今回は、岩槻区の市立城南中学校の取組を御紹介します。

城南中学校では、「希望と愛をはぐくむ美と活力の学校」づくりに取り組んでいます。



【環境整備作業の様子】

＜校内環境緑化整備＞

城南中学校は環境緑化整備に力を入れている学校です。校内に50本近い桜の古木があり、毎年入学式の季節に満開の花を咲かせるほか、校舎まわりの花壇には一年中季節の草花が植えられています。毎年9月初めにPTAと学校開放団体を中心とする地域の方々、全校生徒・職員で敷地内の雑草の除去や桜の古木の枝の剪定など、大がかりな環境整備を行っています。子どもたちは、自分たちの学校を地域の多くの方々が支えてくださっていることを実感し、感謝するとともに環境整備の大切さを学んでいます。

＜未来（みら）くるワーク体験＞

9月10日～12日に岩槻区内及び隣接地域の24事業所に御協力いただき、3日間の職場体験学習を実施しました。始業前準備・作業手順確認など、目立たない仕事の大切さや最後までやり遂げる責任感、そして社会の一員としてのマナーや礼儀等を学びました。外からではうかがい知れないことを体験し、また働くことの大切さや喜びも感じる事ができ、今後の進路について考えるきっかけとなる有意義な3日間でした。事業所の方々からは、「仕事に誠実に取り組む姿勢が素晴らしい。来年度もぜひ協力したい。」との声が多く寄せられ、地域と学校がさらに近づくことができました。



【飲食店での職場体験学習の様子】



【JCSでの学習の様子】

＜城南チャレンジスクール／略称「JCS」＞

「自ら学ぶ」を基本に、基礎学力の向上と学習習慣の確立を目的に実施しています。略称である「JCS」には飛躍（Jump up）・継続（Carry on）・向上（Step up）を目指す意味が込められています。生徒たちは、ベテランのアドバイザーには基礎学習や勉強に取り組む姿勢を親切丁寧に教えてもらい、大学生のアドバイザーには気さくな雰囲気の中にも的確な指導をしてもらい、自己課題に真剣に取り組んでいます。JCSはPTAからの全面的なバックアップと、地域の多くの方々の支援をいただいて実施しています。

城南中学校での取組から、生徒たちは、学校の授業からだけでなく、様々な場所、人から多くのことを学び、成長していく様子が伝わってきます。